

令和6年6月18日

令和 5 年度政務活動費に係る収支報告書

青森県議会議長 丸井 裕 殿

青森県議会議員 菊池 勲

1 収 入

(政務活動費交付額) 3,410,000 円

2 支 出

経 費	金額(円)	主 な 内 容
調 査 研 究 費	717,080	県外調査・事務委託料
研 修 費	61,715	地方議員セミナー
広 聴 広 報 費	0	
要請陳情等活動費	0	
会 議 費	0	
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	35,380	新聞購読料・図書購入費
事 務 所 費	446,024	事務所賃借料・電気代・水道代
事 務 費	56,670	名刺代
人 件 費	0	
合 計	1,316,869	

3 差 引

(収入額－支出額) 2,093,131 円

令和5年度 事務所状況報告書

議員名 菊池 勲

1 所在地等

- 所在地 弘前市大字駅前町15番地7 石川店舗1F
- 電話番号
- 延べ床面積 34 m²

2 事務所の設置形態

- 自宅等に設置
 - 自己所有物
- 上記以外
 - 賃借物件
 - 所有者
 - 賃貸借契約先: 石川 けい子
 - 第三者
 - 関連会社
 - 親族
 - 生計は同一である
 - 生計は別である

3 他用途との兼用の有無

- 有
 - 後援会事務所
 - 政党事務所
 - 自宅等
 - その他 []
- 無
 - 政務活動専用

使用実態による場合

- 使用面積割
 - 事務所使用面積 m²のうち、政務活動の使用面積 m²
- 使用時間割
 - 事務所使用時間 のうち、政務活動の使用時間
- その他 []

使用実態によることが著しく困難な場合

- 按分率 1/2

※別に後援会や政党の事務所がある場合は、参考までにその名称と所在地を記入願います。

・後援会	名称
	所在地
・政党	名称
	所在地

4 事務所費の支出状況等

項目	支払額/月	按分率	按分による政務活動費充当額/月
<input checked="" type="checkbox"/> 事務所賃借料	70,000 円	1/2	35,000 円

項目	支払額/月	按分率	按分による政務活動費充当額/月	台数
<input type="checkbox"/> 駐車場賃借料	円		円	台

項目	按分率	備考	項目	按分率	備考
光熱水費	<input checked="" type="checkbox"/> 電気代	1/2	その他	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> ガス代			<input type="checkbox"/>	
	<input checked="" type="checkbox"/> 水道代	1/2		<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 灯油代			<input type="checkbox"/>	

※光熱水費等について、上記3と異なる按分率を用いる場合は、備考欄にその理由を記入すること。

費目ごとの^{あん}按分率一覧

議員名 菊池 勲

1 事務費

(1) 固定電話・ファクシミリ(番号ごとに記載)

電話 ファクシミリ (番号 - -) 自宅設置 事務所設置

政務活動以外にも使用 後援会活動 実態による場合

政務活動専用 政党活動 通話時間

私的活動 その他 []

実態によることが著しく困難な場合 按分率

(2) ネット回線使用料・プロバイダ料

契約先 () 自宅設置 事務所設置

政務活動以外にも使用 後援会活動 実態による場合

政務活動専用 政党活動 接続時間

私的活動 その他 []

実態によることが著しく困難な場合 按分率

(3) 携帯電話 (番号 - -)

政務活動以外にも使用 後援会活動 実態による場合

政務活動専用 政党活動 通話時間

私的活動 その他 []

実態によることが著しく困難な場合 按分率

(4) 情報端末(タブレット等)

政務活動以外にも使用 後援会活動 実態による場合

政務活動専用 政党活動 通信時間

私的活動 その他 []

実態によることが著しく困難な場合 按分率

(5) 消耗品、備品等

政務活動以外にも使用 後援会活動 実態による場合

政務活動専用 政党活動 使用頻度

私的活動 その他 []

実態によることが著しく困難な場合 按分率 1/2

2 広聴広報費

(1) 広報紙の作成、発行等に要する経費

政務活動以外の部分を含む 後援会活動 紙面割合による場合

政務活動のみ 政党活動 紙面割合によることが著しく困難な場合 按分率

(2) ホームページの作成等に要する経費

政務活動以外の部分を含む 後援会活動 面積割合による場合

政務活動のみ 政党活動 面積割合によることが著しく困難な場合 按分率

領収書等の写し集計表

経 費	調査研究費		支出先	品名	備考	
	整理番号	支出年月日				支出額
	7	5.5.15	35,000	自由民主党会派	事務委託料5月分	
	8	5.6.15	35,000	自由民主党会派	事務委託料6月分	
	9	5.7.18	35,000	自由民主党会派	事務委託料7月分	
	10	5.8.17	35,000	自由民主党会派	事務委託料8月分	
	11	5.9.15	35,000	自由民主党会派	事務委託料9月分	
	12	5.10.16	35,000	自由民主党会派	事務委託料10月分	
	40	5.6.28	36,688	日本航空株式会社	航空券代	東京都江東区
	41	5.7.1	8,856	楽天グループ株式会社	宿泊代	東京都江東区
	42	5.7.25	32,090	日本航空株式会社	航空券代	東京都千代田区
	43	5.7.25	11,858	名鉄イン浜松町	宿泊代	東京都千代田区
	44	5.7.28	15,440	東日本旅客鉄道株式会社	JR切符代	北海道檜山郡
	45	5.7.28	7,690	厚沢部うずら温泉四季の宿	宿泊代	北海道檜山郡
	46	5.7.29	9,690	ホテルテトラ函館駅前	宿泊代	北海道檜山郡
	47	5.11.11	33,344	日本航空株式会社	航空券代	埼玉県さいたま市・神奈川県横浜市
	48	5.10.30	9,500	スーパーホテルPremierさいたま・大宮駅東口	宿泊代	埼玉県さいたま市・神奈川県横浜市
	54	5.11.17	35,000	自由民主党会派	事務委託料11月分	
	55	5.12.15	35,000	自由民主党会派	事務委託料12月分	
	56	6.1.15	35,000	自由民主党会派	事務委託料1月分	
	57	6.2.15	35,000	自由民主党会派	事務委託料2月分	
	58	6.3.15	35,000	自由民主党会派	事務委託料3月分	
	91	6.1.1	44,168	日本航空株式会社	航空券代	大阪府大阪市淀川区
	92	6.1.1	5,800	株式会社一休	宿泊代	大阪府大阪市淀川区
	93	6.3.23	38,150	日本航空株式会社	航空券代	東京都江東区
	94	6.3.23	11,100	株式会社一休	宿泊代	東京都江東区
	95	6.3.23	36,165	日本航空株式会社	航空券代	東京都千代田区
	合 計		685,539			

領収書等の写し集計表

経 費	調査研究費				
整理番号	支出年月日	支出額	支出先	品名	備考
96	6.3.26	33,800	スーパーホテル秋葉原・末広町	宿泊代	東京都千代田区
97	6.3.27	-2,259	自由民主党会派	事務委託料精算	
合 計		31,541			

政務活動実績報告書

議員名 菊池 勲

事業名	スポーツコミッションについて・スポーツ事業の方向性についての調査			
経費	調査研究費			
実施年月日	5.6.27~28			
場所	東京都江東区			
同行議員				
目的	スポーツコミッションについて取り組む都道府県の実況調査及びスポーツへの施設整備のあり方や今後のスポーツ事業の方向性についての調査			
日程	6月27日 自宅(自家用車)ー青森空港(JAL)ー羽田空港(JR)ーホテル(東京都港区)泊 6月28日 ホテル(東京都港区)発(JR)ー東京ビックサイト(東京都江東区)ー(JR)ー羽田空港(JAL)ー青森空港(自家用車)ー自宅			
訪問内容及び内容	東京ビックサイトで開催された「JAPAN SPORT WEEK2023」 10時~15時 ・静岡県スポーツ・文化観光部スポーツ局、稲葉晴伸室長、川口大介主事より静岡県のスポーツコミッション設立と運営の状況を伺った。ラグビーワールドカップの盛り上げりを活かし、スポーツコミッションの設立に活かしたとのこと。知事主導による展開。今後成果を模索。 ・福島県郡山市観光協会事務局次長の佐藤嘉繁様と指定管理者である藤高志マネージャから福島県の取り組むスポーツ事業の説明を頂きました。スポーツコミッションは設立していないものの、合宿誘致に活用してもらうために県外の学校関係に営業と誘客しているとのこと。そして、県というよりは市町村が中心になり取り組んでいるとの説明があった。 ・石川県の金沢文化スポーツコミッションの取り組みの説明を高木司チーフから頂きました。金沢を中心に新幹線の開業に合わせて取り組みを模索してスタートしたとのこと。これは観光協会と金沢市で共同に出資して、文化スポーツイベントを開催誘致するために取り組んでいると説明があった。人数により最大100万円の補助事業となっている。また今年からは学生の合宿誘致の取り組みもスタートしているとのことでした。こちらは生徒一人一律1000円の補助として取り組みが進んでいると説明があった。観光協会に事務局がある。 ・沖縄県スポーツ協会山里亮子課長、読谷村ゆたさむら推進部商工・観光振興係の池原康平主事、読谷村観光協会事務局長の小林広治事務局から沖縄県の取り組みについて説明を頂きました。沖縄はスポーツ合宿に沖縄を活用する場合は、ワンストップで対応できるように窓口を一本化しており、すべての対応がしやすいように図られていた。これにより競技者は競技に集中し、また観光関係者が入ることにより、行政では難しいノウハウの活用が行われていた。 ・日本スポーツツーリズムの藤原直幸地域スポーツ戦略ディレクターから話を伺い、全国のスポーツコミッションの動向や国体後に、スポーツコミッションに移行するケースもあるとのアドバイスを頂いた。スポーツコミッションの現状はほとんどが行政が費用捻出する状況であり、民間での設立や運営は難しいとの説明があった。			
経費の内訳等	支出内容	政務活動費 充当額(円)	主な品名	整理番号
	交通費	36,688	航空券代	40
	宿泊費	8,856	宿泊代	41
	受講料 その他			
合計額		45,544		

政務活動実績報告書

議員名

菊池 勲

事業名	こども家庭庁及びGX戦略についての国の動向の調査			
経費	調査研究費			
実施年月日	5.7.25～26			
場所	東京都千代田区			
同行議員				
目的	2023年から取り組みがスタートしている「こども家庭庁」及び「GX戦略」について都道府県にも多大な影響があるため、国の動向について調査を行った			
日程	7月25日 自宅－(自家用車)－青森空港－(JAL)－羽田空港－(JR)－参議院議員会館－(JR)－ホテル(東京都港区) 7月26日 ホテル(東京都港区)－(JR)－羽田空港－(JAL)－青森空港－(自家用車)－自宅			
訪問内容及先び等	地方制度研究会(全国の地方議員による勉強会) 7月25日15時～16時 参議院議員会館 会議室 ・こども家庭庁から令和5年度予算及び政策についての説明を頂いた。 今後見込まれている事業や内容、さらには地方でも大きく影響してくる予算について説明があった。 「こどもまんなかアクション」、「こども大綱」及び「こども未来戦略方針」、「こどもの貧困」については今後の青森県議会でも取り組みを質問すると共に推進していく。 7月25日16時～17時 参議院議員会館 会議室 ・自治体「GX」について、環境省より現在の国の動向及び世界の流れについても説明があった。 青森県も環境保護と再生可能エネルギー推進の両面から取り組もうとしている。今後の重要テーマとして議会及び委員会でも取り上げていく。さらには、国としては再生可能エネルギーの開発許可エリアに制限をかけるシーリング設置を推奨する予算を設けている。今後は自治体の取り組みが進んでいないシーリングについて、予算面も含めて国からの協力を得て、進められるように提言していく。 7月25日17時10分～17時40分 ・全国各地の都道府県議会議員が集まり、情報交換を行った。 本年の都道府県議会議員の取りまとめ役となることになった。 全国の状況をキャッチして青森県にもいかしていく。			
経費の内訳等	支出内容	政務活動費 充当額(円)	主な品名	整理番号
	交通費	32,090	航空券代	42
	宿泊費	11,858	宿泊代	43
	受講料			
	その他			
合計額		43,948		

政務活動実績報告書

議員名 菊池 勲

事業名	青森県フードパレー構想の理解とスマート農業の可能性についての調査			
経費	調査研究費			
実施年月日	5.7.28～30			
場所	北海道檜山郡厚沢部町、上ノ国町			
同行議員				
目的	むつ市で建設が進んでいる大規模植物工場によるスマート農業をモデルにして、今後青森県で取り組みが加速しようとする青森県フードパレー構想を理解するために北海道道南エリアの農家及び株式会社寅福を訪問し、スマート農業の可能性について調査を行う。			
日程	<p>7月28日 自宅(自家用車)→新青森駅(JR)→新函館北斗駅(車で送迎)→かぼちゃ農家との意見交換会(車で送迎)→厚沢部うずら温泉(北海道檜山郡厚沢部町)泊</p> <p>7月29日 厚沢部うずら温泉(北海道檜山郡厚沢部町)→(車で送迎)→株式会社寅福(車で送迎)→寅福の養殖所(車で送迎)→寅福のアスパラ畑見学(車で送迎)→寅福運営の廃校活用の説明(ワイナリー+ホテル)→(車で送迎)→函館市(ホテルテトラ函館駅)泊</p> <p>7月30日 函館市(ホテルテトラ函館駅)発→(徒歩)→新函館北斗駅(JR)→新青森駅(自家用車)→自宅</p>			
訪問内容及び先等	<p>7月28日18時～20時 下川部牧場会長の下川部耕二様を始めとするかぼちゃ農家の集まりでの意見交換会。また素敵な過疎づくり株式会社の森稔彦様も参加して、厚沢部町の農業経営について学びました。基本的に行政支援という考え方がない農家の集まりであり、民間努力による売り上げ向上をひたすら考えていた。この辺は大きく青森県とは違っているようだ。また行政に頼むことは、農道整備くらいのものであり、他には技術革新による工具開発くらいだと話があった。また後継者への引継ぎがうまくいっている農家が多く、そういった部分も大いに見習う点がある。一番大きいのは収入所得が安定していることが大きいと考える。</p> <p>7月29日11時～14時 株式会社寅福本社にて加藤夢人社長、加藤卓也会長、株式会社マルタの鶴田社長にお会いして、取り組みについて説明を受けた。オランダの技術を活用したオランダ式温室栽培についても説明を受けた。木材を活用して熱源を確保して、余った熱をすてるのではなくうまく活用し、近くで行っているナマコの養殖場での熱源に使うなど取り組みは生産性が高く収穫量も通常のトマト栽培の数倍になる。雪があり不利だといわれてきた地域、北の最北端として交通の便も悪いエリアだった上ノ国でもカゴメとの対等な関係により、うまく事業展開されており、青森県との親和性も高いと感じた。今後のスマート農業の可能性は国内のみならずオランダなども視野に入れて研究していると話があった。オランダの知人や友人、会社などを紹介してもらえるため、今後の調査活動に大いに活かしていく。スマート農業については議会や委員会を通じて発信し、取り組みをさらに推進するように提言する。</p> <p>7月29日14時～16時 ナマコの養殖及び廃校活用について学び、特にナマコの養殖技術については青森県では確立されていないため、今後この技術について注目し、青森県での実現可能性について政策として反映できるように提言していく。</p>			
経費の内訳等	支出内容	政務活動費 充当額(円)	主な品名	整理番号
	交通費	15,440	JR切符代	44
	宿泊費	7,690	宿泊代	45
	宿泊費	9,690	宿泊代	46
	その他			
合計額	32,820			

政務活動実績報告書

議員名 菊池 勲

事業名	国際バカロレア教育・ファッション甲子園の今後に向けた調査			
経費	調査研究費			
実施年月日	5.10.30~31			
場所	埼玉県さいたま市・神奈川県横浜市			
同行議員				
目的	全国的に100校ほどが指定を受けている国際バカロレア教育について市立高校で取り組んでいるさいたま市立大宮国際中等学校のケースを調査すること。横浜デザイン学院においては2年連続でファッション甲子園で優勝を果たしており、学校現場での教育の様子や取り組み、ファッション甲子園の今後に向けた調査。			
日程	<p>10月30日 自宅(自家用車)ー青森空港ー(JAL)ー羽田空港ー(JR)ー埼玉県さいたま市(さいたま市立大宮国際中等教育学校)ー埼玉県大宮市(スーパーホテル大宮東口)</p> <p>10月31日 埼玉県大宮市(スーパーホテル大宮東口)ー大宮駅ー(JR)ー横浜駅ー神奈川県横浜市西区(学校法人横浜デザイン学院)ー横浜駅ー(JR)ー羽田空港ー(JAL)ー青森空港ー(自家用車)ー自宅</p>			
訪問内容及先び等	<p>10月30日13時30分~16時50分 さいたま市立大宮国際中等教育学校にて関田晃校長より、国際バカロレア教育を取り入れた中高一貫型の大宮国際中等教育学校の取り組みについて説明を受けました。学校内のすべてを見学させてもらう機会もあり、子どもたちの姿を見ながら国際バカロレア教育について学ぶことができました。青森県内も青森南高校が国際バカロレア教育を目指しており、今後は子どもたちのアクティブラーニングについてやディスカッションを通じた教育の組み立ての実現、クラスの現行の配置基準を超えた加配措置を行う手厚い教育環境の中にある体制に近づけられるかどうかなどの部分は大いに論点として議会でも提言していきたい。偏差値偏重型の教育に巻き込まれないことも大切で、中高一貫教育について理解を深めた。</p> <p>10月31日10時~12時 横浜デザイン学院の池田俊一院長をはじめとする職員の皆様と面会の機会を頂き、横浜デザイン学院の取り組みや学校での教育内容について説明を受けた。普通高校ではなく専修学校ということで、一般入試があるわけではなく、専門学校のような状況であり、普通高校になじめないデザイン好きの子供や不登校気味の子どもたちが通う学校という説明がありました。それでも先生方の熱量で、ファッション甲子園で優勝するまでの子供を育てる力は素晴らしいものがあると実感。一方で、先生方はファッション甲子園を「聖地」と呼んでおり、いかに子供たちがその夢に向かって取り組むことで成長するかということを力説していた。青森県にいと全国的に「聖地」といえるほどの取り組みになっているか？認知度か？とても恥ずかしく自戒の思いを感じる機会となり、人財育成の場になっているか？地域に根差した取り組みになっているかを考えていく必要があると感じた。県も関わるファッション甲子園事業に関しては、今後も委員会などで新たな提言を行っていく。</p>			
経費の内訳	支出内容	政務活動費 充当額(円)	主な品名	整理番号
	交通費	33,344	航空券代	47
	宿泊費	9,500	宿泊代	48
	受講料 その他			
合計額		42,844		

政務活動実績報告書

議員名 菊池勲

事業名	都道府県選出の地方議員における課題解決のための勉強会			
経費	調査研究費			
実施年月日	5.12.25～26			
場所	大阪府大阪市淀川区			
同行議員				
目的	<p>第二回 地方制度研究会(都道府県議会議員での勉強会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県特有の課題を抽出し、それぞれの議会や行政での共有を図る。 ・今回のテーマは特に森林政策及び奨学金制度、子育て政策についてを共有する課題とした。 			
日程	<p>12月25日 自宅(自家用車)ー青森空港ー(JAL)ー伊丹空港ー(JR)ー サニーストンホテル(大阪府大阪市淀川区)ー 宿泊</p> <p>12月26日 サニーストンホテル(大阪府大阪市淀川区)ー(JR)ー 伊丹空港ー (JAL)ー青森空港ー (自家用車)ー 自宅</p>			
訪及内容	<p>地方制度研究会(都道府県議会の議員での勉強会) 16時～19時30分 大阪サニーストンホテル 9名の参加者と講師として中田宏参議院議員にもオンラインで参加いただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「分収造林事業」について全国的な動向と現状に関して意見交換を行いました。 青森県では民間への委託から直営に移行し、債務超過などに至らずにいまのところ推移しているものの、全国的には大きく債務が膨らみ、今後も改善する見通しが立っていない。森林関連の事業に関しては、日本の基幹産業であるものの、その内容や状況は地方任せになり、決して明るいものではない。このような状況を改善するには国との連携した動きが必要だと痛感し、今後に向けて議会活動に活かす。 ・「子育て政策」について奨学金について意見交換を行いました。 <p>給付型奨学金や奨学金返還支援制度についての各県の取り組みが共有されました。</p> <p>奨学金に関しては、高校生からの奨学金受給者の高校卒業後の動向や生活状況に話が集中しました。高校生の奨学金受給者の8割は就職していくが就職後に奨学金を返済しながら生活しているため想像以上に生活が苦しいのが現実で、現状の制度ではなかなか手が差し伸べられていないと説明がありました。</p> <p>奨学金返還支援制度も国の法律によって大卒者からの適用となっており、高卒生は対象外での運用がされていると説明がありました。調査すると青森県も同様の運用でした。奨学金返還支援制度はどこの県も認知度が低く運用が難しいとの共有もあり、今後も継続して奨学金の課題に取り組んでいきます。</p>			
経費の内訳	支出内容	政務活動費 充当額(円)	主な品名	整理番号
	交通費	44,168	航空券代	91
	宿泊費	5,800	宿泊代	92
	受講料			
	その他			
合計額		49,968		

政務活動実績報告書

議員名 菊池 勲

事業名	FOODEXイベントへの参加・水産加工品の海外輸出状況のヒアリング調査			
経費	調査研究費			
実施年月日	6.3.7~8			
場所	東京ビックサイト(東京都江東区)			
同行議員				
目的	<p>ホタテの中国禁輸施策に伴い、北海道産や青森県産のホタテが海外輸出されず、国内市場に大量に流れ込み、国内のホタテが価格下落を招いている。これらを改善するために、どのような輸出先があるのか、また輸出のために必要な条件を見出すことが必須になっています。日本最大のシーフードを中心にした世界からもバイヤーが集まるFOODEXに参加して、現地での知見を青森県産品の輸出につなげていく。</p>			
日程	<p>3月7日 (自宅)―(自家用車)―青森空港―(JAL)―羽田空港―(JR)―ホテル(東京都千代田区) 3月8日 ホテル―(JR)―東京ビックサイト(東京都江東区)―(JR)―羽田空港―(自家用車)―(帰宅)</p>			
訪問内容及先び等	<p>3月8日10時~16時30分 会場 東京ビックサイト</p> <p>11時~11時50分「台湾への食品輸出 =成功の秘訣=」 台湾優良食品發展協會駐日代表陳英顯氏の話聞き、日本市場から中国に輸出している市場の説明がありました。日本の製品や日本企業の入り込むことが出来ている多くは、コンビニエンスストアのような小売りでの市場進出にとどまり、デパートなどの大型ショッピングセンターへはアメリカ資本系の会社が入っていて、日本が入り込めていないことが指摘された。地縁や人間関係を大事にする台湾は、キーマンが重要になるため、台湾との人間関係をつなぐ交流が必要との話があった。また輸出基準もあり、今後は『JFS規格』と『TQF規格』が共同運用できるとのことで、日本からの台湾市場を目指す企業が増えることが示唆された。</p> <p>14時~14時50分「冷蔵、冷凍に続く第三の鮮度保持技術ZEROCOが目指す食産業・物流の新しい形 ZEROCO株式会社 / カフェ・カンパニー株式会社」代表取締役社長楠本修二郎の話は、これまでの冷凍技術とは違い、凍らせずに0度で湿度100%にして商品の保存ができる技術であるとのことでした。これまで農業生産県としての大きな課題は輸送技術が制約であっただけに、この方法による可能性は革命級だと感じた。現在も実証され、結果が良好であることから、今後の展開にも期待が持てる。青森県との協定や青森県の輸出にZEROCO活用が進むように、今後の議会活動で推進していく。</p> <p>10時~16時 国内外ブースの状況 海外もフランス、イタリア、オランダ、オーストラリア、アメリカと食に関する世界的な知名度が高い国の展示ブースへの誘客状況が圧倒的に多かった。一方で、青森県ブースでもホタテの冷凍食品が販売されていたが、水産加工品への注目度は世界から見ても高いことがよく分かった。海外のバイヤーの健康食、天然食などへの強い興味関心を見ていると、青森県の水産物の活かし方次第で、今後の輸出には大きなプラスの影響があると感じた。</p>			
経費の内訳	支出内容	政務活動費 充当額(円)	主な品名	整理番号
	交通費	38,150	航空券代	93
	宿泊費	11,100	宿泊代	94
	受講料			
	その他			
合計額		49,250		

政務活動実績報告書

議員名

菊池 勲

事業名	新年度予算の調査(こども家庭庁、総務省)及び農水省でのスペイン国、オランダ国農業施策について			
経費	調査研究費			
実施年月日	6.3.26~6.3.28			
場所	東京都千代田区			
同行議員				
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度の予算について(こども家庭庁及び総務省)の青森県にとって影響の大きい分野について説明を受けた ・スタートアップの国及び都内の状況についてのヒアリングを行った。 ・農水省でスペインでの国外調査を前にスペインと日本の水産物についてヒアリングを行った。同様にオランダでの国外調査を前に、日本の施設園芸施策の状況をヒアリングした。国が法整備を進めるスマート農業施策についてもヒアリングを行った。 			
日程	<p>3月26日 自宅(自家用車)ー青森空港(JAL)ー羽田空港(JR)ー ホテル(東京都千代田区)</p> <p>3月27日 ホテル(東京都千代田区) ー(JR)ー参議院議員会館(JR)ーホテル(東京都千代田区)</p> <p>3月28日 ホテル(東京都千代田区)ー(JR)ー渋谷(JR)ー農水省(JAL)ー青森空港(自家用車)ー自宅</p>			
訪及内容	<p>第3回地方制度研究会(全国の地方議員による勉強会) 3月26日15時~18時 参議院議員会館 会議室 ・こども家庭庁、総務省から令和6年度予算及び政策についての説明を頂いた。 こども家庭庁予算については青森県の少子化対策に密接に関係する部分もあり、特に無償化に関する取り組みや児童相談所などの人員増員に関する取り組みは今後の議会でも質問していく。 総務省予算ではマイナンバーカードの説明や地方自治に関するデータの共有化に関して説明があったが、PHRの取り組みについて総務省の現状に関して質問を行った。</p> <p>3月27日11時~13時 東京都渋谷区 Global Brain株式会社 ・スタートアップについての取り組みをヒアリングを行った。 国の施策で予算が桁違いになっているスタートアップ分野の現状を説明してもらった。 特にDX、ライフ、宇宙、グリーン分野が特に注目度が高く、青森県で考えるとDX、ライフ、グリーンは特に可能性が大きいことがわかる。今後は戦略プランや情報を持つVC関係との関わりも必要だと痛感した。</p> <p>3月28日14時~16時 農林水産省 官房政策課技術政策室 ・スペインへの日本からの輸出品や現在のスペインでの水産物についてヒアリングを行った。 スペインをはじめとする国内ではシーフード需要は高い。ホタテも生産していて日本に近い半生貝とのことで競合する可能性があるとのこと。バイヤーはじめ、スペインでの日本産ホタテが実際に食味や志向に合うかどうかのヒアリングは必要だと見解を頂いた。 ・オランダ型施設農業やスマート農業についても説明を頂いた。日本での施設農業の現状や国が目指そうとする施設型農業について状況のヒアリングを行った。一方で、現在国が進めているスマート農業の法整備についてもレクチャー頂いた。青森県もスマート農業を進めており、議会の一般質問で活かしていく。</p>			
経費の内訳	支出内容	政務活動費 充当額(円)	主な品名	整理番号
	交通費	36,165	航空券代	95
	宿泊費	33,800	宿泊代	96
	受講料			
	その他			
合計額		69,965		

政務活動実績報告書

議員名

菊池 勲

経 費	調査研究費			
年 月 日	場 所	訪 問 先 等	概 要	整理番号
5.5.15	青森市長島	自由民主党会派	所属会派の事務用品の購入等に要する経費に充てるための事務委託料(5月分)を支出した。	7
5.6.15	青森市長島	自由民主党会派	所属会派の事務用品の購入等に要する経費に充てるための事務委託料(6月分)を支出した。	8
5.7.18	青森市長島	自由民主党会派	所属会派の事務用品の購入等に要する経費に充てるための事務委託料(7月分)を支出した。	9
5.8.17	青森市長島	自由民主党会派	所属会派の事務用品の購入等に要する経費に充てるための事務委託料(8月分)を支出した。	10
5.9.15	青森市長島	自由民主党会派	所属会派の事務用品の購入等に要する経費に充てるための事務委託料(9月分)を支出した。	11
5.10.16	青森市長島	自由民主党会派	所属会派の事務用品の購入等に要する経費に充てるための事務委託料(10月分)を支出した。	12
5.11.17	青森市長島	自由民主党会派	所属会派の事務用品の購入等に要する経費に充てるための事務委託料(11月分)を支出した。	54
5.12.15	青森市長島	自由民主党会派	所属会派の事務用品の購入等に要する経費に充てるための事務委託料(12月分)を支出した。	55
6.1.15	青森市長島	自由民主党会派	所属会派の事務用品の購入等に要する経費に充てるための事務委託料(1月分)を支出した。	56
6.2.15	青森市長島	自由民主党会派	所属会派の事務用品の購入等に要する経費に充てるための事務委託料(2月分)を支出した。	57
6.3.15	青森市長島	自由民主党会派	所属会派の事務用品の購入等に要する経費に充てるための事務委託料(3月分)を支出した。	58

政務活動実績報告書

議員名 菊池 勲

事業名	地域医療、ホタテ禁輸措置対策、地方自治の歯科施策についての地方議員セミナー			
経費	研修費			
実施年月日	5.11.9～10			
場所	東京都千代田区			
同行議員				
目的	<p>医師確保及びホタテの輸出停止に伴う国の対応がどのようになっているのかを調査すること。 歯科健診が今後どのような方向に向かっていくのか？取り組みのエビデンスと成果について。 ライドシェア事業について。地方都市の業界は懸念を表明しているため、国の現状制度の認識についての調査を行った。</p>			
日程	<p>11月9日 自宅（自家用車）－青森空港－（JAL）－羽田空港－（JR）－東京都千代田区（ビジョンセンター永田町）－（JR）－東京都台東区（ドームイン上野）</p> <p>11月10日 東京都台東区（ドームイン上野）－（JR）－羽田空港－（JAL）－青森空港－（自家用車）－自宅</p>			
訪問先及び内容等	<p>11月9日13時～14時萩生田光一政調会長の講演及び質疑 医師確保について国は偏在化を課題と感じているとの話があり、国が直営で医師を雇用する方法を検討していると説明があり、これは青森県でも同様の課題があると考えてたので、大いに提言していく。 またホタテの中国輸出が禁止になっている現状に対して、国は北海道の考えを尊重し、中国を通さずに輸出できるような仕組みを検討しているという話がありました。一方で、青森県の状況は伝わっていない部分が大い問題意識になり、意見書を作成し、11月定例会につなげていく。</p> <p>11月9日14時20分～15時20分ライドシェアについての説明 国土交通省の室長よりライドシェア事業について説明があった。国の中でライドシェアについて、現状の変更点や改正ポイントについて説明があった。質疑の中で、ライドシェア自体の定義があいまいで、今後どのようなしていくのかはわかりにくいとする意見が相次いだ。今後の取り組みにも地方にあったライドシェアにするために、今後も県と情報を共有しながら必要な改革をすすめていく。</p> <p>11月9日15時30分～16時45分日本歯科医師会の高橋英登会長からの歯科行政についての説明 国の骨太の方針になっている歯科健診、オーラルフレイル事業について、さらには歯科健診についての理論的な説明をわかりやすく話を頂きました。今後、8020運動などでも遅れをとる青森県の課題であり、今後推進できるように委員会などでも質問をおこなっていく。</p> <p>11月9日17時15分～17時30分木原防衛大臣が公務などで講演時間が遅れて登壇となった。短時間であったが、リアルタイムの外交・最近の防衛に関する事項や吉再編に関わる講演を短時間であったが聞くことが出来た。</p>			
経費の内訳等	支出内容	政務活動費 充当額(円)	主な品名	整理番号
	交通費	46,615	航空券代	89
	宿泊費	15,100	宿泊代	90
	受講料			
	その他			
合計額	61,715			

領収書等の写し集計表

経費	事務所費		支出先	品名	備考
	整理番号	支出年月日			
13	5.5.1	35,000	株式会社さくらエステートサービス	事務所賃借料(5月分)	70000×1/2
14	5.5.24	35,000	石川けい子	事務所賃借料(6月分)	70000×1/2
15	5.6.21	35,000	石川けい子	事務所賃借料(7月分)	70000×1/2
16	5.7.21	35,000	石川けい子	事務所賃借料(8月分)	70000×1/2
17	5.8.22	35,000	石川けい子	事務所賃借料(9月分)	70000×1/2
18	5.9.21	35,000	石川けい子	事務所賃借料(10月分)	70000×1/2
19	5.10.23	35,000	石川けい子	事務所賃借料(11月分)	70000×1/2
26	5.6.19	1,523	弘前市上下水道部	水道料金(6月分)	3047×1/2
27	5.7.19	1,523	弘前市上下水道部	水道料金(7月分)	3047×1/2
28	5.8.16	1,523	弘前市上下水道部	水道料金(8月分)	3047×1/2
29	5.9.15	1,523	弘前市上下水道部	水道料金(9月分)	3047×1/2
30	5.10.28	1,023	弘前市上下水道部	水道料金(10月分)	2047×1/2
31	5.6.9	1,861	東北電力株式会社	電気代(5月分)	3723×1/2
32	5.7.11	1,282	東北電力株式会社	電気代(6月分)	2565×1/2
33	5.8.11	1,425	東北電力株式会社	電気代(7月分)	2850×1/2
34	5.9.13	1,365	東北電力株式会社	電気代(8月分)	2731×1/2
35	5.10.3	1,341	東北電力株式会社	電気代(9月分)	2683×1/2
59	5.11.22	35,000	石川けい子	事務所賃借料(12月分)	70000×1/2
60	5.12.21	35,000	石川けい子	事務所賃借料(1月分)	70000×1/2
61	6.1.19	35,000	石川けい子	事務所賃借料(2月分)	70000×1/2
62	6.2.21	35,000	石川けい子	事務所賃借料(3月分)	70000×1/2
63	6.3.21	35,000	石川けい子	事務所賃借料(4月分)	70000×1/2
75	5.11.24	1,023	弘前市上下水道部	水道料金(11月分)	2047×1/2
77	6.1.22	1,523	弘前市上下水道部	水道料金(1月分)	3047×1/2
78	6.2.19	1,523	弘前市上下水道部	水道料金(2月分)	3047×1/2
合計		438,458			

領収書等の写し集計表

経 費	事務所費		支出先	品名	備考
	整理番号	支出年月日			
79	6.3.19	1,523	弘前市上下水道部	水道料金(3月分)	3047×1/2
80	5.11.6	1,431	東北電力株式会社	電気代(10月分)	2862×1/2
81	5.12.7	1,446	東北電力株式会社	電気代(11月分)	2893×1/2
82	6.1.8	1,463	東北電力株式会社	電気代(12月分)	2926×1/2
83	6.2.5	1,703	東北電力株式会社	電気代(1月分)	3406×1/2
合 計		7,566			

